

# 彩菜栽

2017年  
6月

## 高温好みで乾燥を嫌う、サトイモ作りのポイント

山で採れる山芋  
に対し、人の住む里  
にできることから  
サトイモの名があ



ります。原産はマレー半島付近の熱

帯の多湿地。日本には中国を経て渡来、  
稲作以前は日本の主食であったとさ  
れる野菜の大先輩です。

主成分はでんぷん質。加熱すると  
糊化(こか)し消化吸収しやすくなり、  
カリウムが豊富に含まれ、意外に低  
カロリーで、体脂肪や生活習慣病が



本葉が5カラ枚の頃から  
追肥、土寄せ  
フィルムを  
めくり作業する



脇芽を取り除くか埋める



肥料を埋めるように  
通路の土を株元に寄せる



芽かき、土寄せが足りないと  
細長い不良品が多くなる

気になる人にもお勧めです。

親芋が中心にあり、子芋、孫芋がそ  
の周りに付くサトイモには、通常子芋、  
孫芋を食べる子芋用と親芋を食べる

親芋用、葉柄を食べる葉柄用があり  
ます。

通常子芋用の「土垂」や「石川早生」

などを選びますが、好みによって親  
芋用の「京いも」や親子兼用の「八つ

頭」、葉柄用の「蓮芋」なども用います。  
サトイモは連作障害が出やすい野

菜なので、少なくとも3〜4年作っ

たことのない場所を選んで栽培しま  
しょう。

高温性で生育適温は25〜30度、植  
え付けは十分地温が上がってから、  
植え付けの深さは7〜8cm。植え付  
けたら畝上にポリマルチをし、地温  
の上昇を図ります。

マルチの下で、芽が伸び始めたら  
遅れずにフィルムを破り芽を上にも  
ぞかせます。

芽が勢い良く伸びだしたら、太い  
芽1本だけを伸ばし、小さな芽は早  
いうちにかき取ります。土寄せ前な  
ら芽を倒して土で埋めてしまうのも  
良い方法です。

本葉が5〜6枚になった頃、畝の  
通路側に肥料(1株当たり油かす大さ  
じ3、化成肥料大さじ2が目安)をば  
らまいて、土と混ぜ合わせながら株

元に土寄せをします。

マルチフィルムは片寄せして作業  
し、再び覆います。土寄せの厚さは4  
〜5cm程度にし、2〜3週間置きに3  
回ほど行います。第2、3回の土寄せ  
の前にも第1回同様に追肥しますが、  
葉が茂り過ぎなら肥料を控えめにし  
てください。第3回はマルチを除去し  
て作業します。あまり遅くまでマルチ  
をしておくと、高温と乾燥のために芽  
つぶれやひび割れなど、子芋の障害の  
原因になるので注意します。

サトイモは日照り不作といわれる  
ほどに、夏の乾燥には弱いです。降雨  
が少なく、土が乾き過ぎるようでした  
ら灌水を心掛けましょう。

例年乾きが激しい畑には作付けし  
ない方が良いでしょう。

### 【お詫びと訂正】

4月号のイラストに誤りがござ  
いました。訂正済みイラストを  
掲載するとともにお詫び申し上  
げます。



順調な育ち  
花の上方に数枚の  
葉が付いている

健全花(長花柱花)

雄しべ  
雄しべが  
雄しべより長い



栄養不良の育ち  
花が先端近くに  
付いている

不良花(短花柱花)

雄しべが  
雄しべより短い



栄養不良になったら  
思い切って摘取りする